

# 「性向語彙」における 「接辞」についての比較研究

——日中の「大」／“大”を中心に——

施暉・聶根鳳

要旨 性向語彙における日中両国語の接辞を抽出、統計したうえで、「大」／“大”という接頭辞に絞って比較、考察を施した結果、以下の主な結論が指摘できる。第一に、接頭辞にせよ、接尾辞にせよ、日本語は中国語より多くあることが明らかになった。とはいうものの、接尾辞の数は接頭辞の方を遙かに上回ることが日中両言語で共通している。第二に、両言語における「大」／“大”はともに強い造語力を備えることが明白である。しかし、中国語の異なり語数と延べ語数はともに日本語を大いに越えたことに注目を要する。第三に、両言語は「大+名詞」というパターンの語例が最も多いことが共通である。また、中国語では「大+形容詞」に分類された語例の数は二番目に多いが、日本語では稀に見られる程度である。第四に、日中両国人は「大食漢」に特に注目しているが、中国人は口、胃などの身体器官を造語発想にする一方、日本人は飲食という動作そのものに焦点を当てる。

キーワード 性向語彙 接辞 異なり語数 延べ語数 造語力

## 汉日性向词汇中的“词缀”比较研究

概要 该文在对汉日性向词汇中的“词缀”进行筛选和统计的基础上，重点考察和比较了前缀“大”／“大”的共性与差异，得出如下主要结论。第一，尽管日语中的前缀和后缀其数量均多于汉语，但两国语言均表现为后缀数量多于前缀，呈现出明显的共性。第二，两国语言中的前缀“大”／“大”均具有强大的构词能力，但汉语的重复词汇量和不重复词汇量均超过了日语，更具能产性。第三，无论是汉语还是日语，“大+名词”类型的词例数量最多。汉语中“大+形容词”类型的词例数量排名第二，而日语却极为少见。第四，中日两国都

特別留意“能吃”这一性向行为，但是与中国人构词时所使用“口、胃”等身体器官不同，日本人重点关注饮食的动作与行为，两国差异明显。

关键词 性向词汇 词缀 重复词汇量 不重复词汇量 造词能力

## はじめに

施暉と樂竹民の研究グループが2003年7月から2014年12月にかけて行なった対人評価に使える言葉に関する実証調査（文末に添付した調査票を参照）では、例えば、第111項目の「嫉妬心の強い人」をどのように評価しているかについて、日中韓三国から「焼き餅焼、小肚鸡肠（度胸がなく、度量も小さい）、여우（狐）」など、人を動物や食べ物にたとえたりして評価、形容する言葉が集まった（施・樂2017b）。それは「性向語彙」とも称され、他者の生まれつきの性格や日頃の振る舞い、性格、態度などを評価の観点に基づいて把握、表現する言葉のまとまりである（室山2001: 6）。「性向語彙」は世界中の諸言語に普遍的に存在し、「意味と評価という特質を具する性向語彙を通じてその国、民族及び社会の深層に潜んでいる価値観、人生観、道德観、行動規範等がよく反映される」と施・樂（2018）が論じているごとく、性向語彙はまさに異なる言語、かつ異なる文化の普遍性と特殊性を解明するための理想的な手掛かりといっても過言ではなからう。

「性向語彙」をめぐる、様々なアプローチから研究する必要があるが、語構成はその一つである。日本では、室山（1993）は性向語彙の形式を語、連語及び句と弁別した。名詞語彙の生成とそのパターンについて、室山（2001）は「形容詞を基にするもの」「形容動詞を基にするもの」「オノマトペを基にするもの」と分類することを提案した。井上（2001）は方言性向語彙の品詞を動詞、形容詞、形容動詞と名詞に分けて分類を行なった。なお名詞形式には、単独の名詞、動詞連用形転成名詞、副詞出自のものや接辞を含むものといった下位分類があると論じた。中国では、李（2009）は日中韓三国の大学生の性向語彙の語彙量を計算したうえで、接辞の種類や意味機能の

視点から考察と対照を行なった。また、施・李（2020b）は日中性向語彙における接尾辞の「虫」を研究対象に、語数、造語発想、評価視点といった角度から比較研究を試みると同時に、文化言語学の視座に立って、異同点に隠れた社会的、文化的要因についての検討と解説をも加えている。残念なことに、語構成を含む「性向語彙」に関する研究は、日本において殆ど方言研究の分野に止まっているばかりで、共通語及び異文化間の対照研究については今日に至っても緒に就いたのみという現状である（施・李2020a: 130）。また2000年以降、この分野の研究は日本では徐々に減少しているのに対し、中国側の学者は日本側の学者からバトンを受け、研究を深く発展させる試みを繰り返している。しかしながら、中国側の研究はまだ始まったばかりの段階にあり、積み重ねられている課題は山ほど多くあると言わざるをえない。

日中韓三言語のいずれも、接辞を通じて造語される性向語彙があることは、施・欒（2017b）等の研究で明らかになった。例えば、中国語の“老黄牛（働き者）”を構成する“老”と“黄”、日本語の「頑張り屋」に用いられる「屋」、また韓国語の“왕재수（最低な奴）”の造語に働く“왕（王）”など、数多くの接辞を巧みに駆使することは、性向語彙の数を極めて豊富多彩にさせるのみならず、対人評価の使用実態をできるだけ多様に、しかも生き生きとして描いている。この点において、日中韓三国語は共通である。

本論文は施・欒（2017b）が実証調査をもとに構築した「日中韓三国性向語彙コーパス」<sup>1)</sup>を利用し、日中性向語彙における「接辞」、特に「接頭辞」に焦点を当て、その種類、数量、構造的特質、意味用法などの考察を通じて、両言語の共通点と相違点を究明することを目的とする。さらに、それぞれの特質を産出させる社会的、文化的要因をも併せて考察してみたい。性向

---

1) 施・欒は室山によって創案された「方言性向語彙調査票」をもとに、合計111の評価項目からなる調査票を作成した。アンケート調査は2003年7月から2014年12月にかけて690名の日中韓三国人（社会人それぞれ130名、大学生それぞれ100名）を対象に、日常的に使用する対人評価語彙について、アンケート用紙に「性向語彙」を記入させる形式で行なった。さらに追加調査として表記や評価度合い等を巡って面接調査と補足調査をも実施した。具体的な調査方法及び調査票の詳細は施・欒（2017b）を参照されたい。

語彙の全貌の謎を解く一環として、日中性向語彙における「接辞」に関する対照研究を積極的に展開することは、日中両国人の対人評価システムの一斑を覗かせることに益すると同時に、両国の言語と文化の対照研究を深く推し進めることにも役立つものと考えられる。

## 1. 接辞

正式な分析に入る前に、接辞の認定に関する問題について簡単に言及しておくこととする。影山(1993:13)によると、「接辞は独自の意味的なまとまりを持つ形態素一基体に付着することによって初めて機能する形態素である」となる。また、接辞を大きく接頭辞と接尾辞に分類できる。『日本文法大辞典』では次のように解説される。つまり、「(接辞は) 語の構成要素の一つ。いつも他の語や語基に従属、融合、活用して、一語を構成する要素。それ単独では不安定で、体言や用言や副詞やそれらの語基についてはじめて一語をなし、語の内部で安定する。～接辞には、語や語基の上につく接頭辞と、下につく接尾辞とがあり、その他に、接中辞のある言語もある。接頭辞や接尾辞は形態素ではあっても、単独で自立しえないため、厳密には、接頭辞、接尾辞というほうが適当なことがある」(松村1971:365)。その他、「接辞」は主に名詞や動詞、形容詞、形容動詞、副詞などの品詞に出自するもので、「体言系接辞」と「用言系接辞」とに分類できる。室山(1998:305)は「性向語彙における用言系出自の接尾辞は前部形態素にある動作、行為とともにそのような動作、行為を行なう人の意味を付するものであるのに対して、体言系出自の接尾辞は、前部形態素と後部形態素が修飾と非修飾の関係にあり、格関係が備わっておらず、そのような人であることを明示したり、強調したりするために添えられており、前部形態素が独立して性向語彙の要素として用いられることを前提とする場合が多い」と解説した。今回のアンケート調査の結果から、接尾辞は接頭辞を遥かに上回り、しかも体言系出自のものが圧倒的に多いことがわかる。

「接辞」に対応する中国語は、“词缀”が最も適当であろう。“词缀”に關

しても、認定から具体的な分析まで、見解がまちまちで、一つにまとめることはなかなかできない(朱・田2000)。『辞海』(1980:386)によると、“词缀”は「語基の前後に付着する形態素であり、“前缀”や“后缀”等の種類がある。“老师”における“老”のように、語基の前に現れる形態素は“前缀”である。一方、“后缀”は語基の後につく形態素である。“桌子”“椅子”の“子”はその例である」(筆者訳、以下同)というものである。また、『現代漢語知識大辞典』(1992:161)では、「“词缀”は“语缀”“词缀语素”とも呼ばれ、語基との結合によって、新たな単語を産出する形態素である。語基につくことで複合語を作り出すのは“词缀”の働きであるが、位置によって“前缀”“中缀”“后缀”の3種に分けられる。語基の前につくのは“前缀”であり、“词头”“语头”“前置成分”ともいえる。それに対し、“后缀”は語基の後につくが、“木头”“帽子”における“头”“子”等が挙げられる。“中缀”は語基の真ん中に位置するが、“词嵌”とも称される。例えば、“对不起”“吃得开”の“不、得”等である」という。

以上の先行研究に基づき、本論文における「接辞」は、非独立的な形態素だけでなく、単語の中で中心的な役割を担わず、人の性質を表示する機能を持つ補助的語構成形態素の総称とする。

## 2. 統計方法

施・欒(2017b)等はアンケート調査で得られたデータを統計、処理するに際して、異なり語数<sup>2)</sup>と延べ語数<sup>3)</sup>という両視点に立って計量に当たった。また、次頁の表1からわかるように、三国それぞれ690名(全体)のデータを統計したほか、社会人(三国それぞれ130名)と大学生(三国それぞれ100名)に区別した計量分析も加えてみた。ただし、本論文は性別と年齢に

---

2) 異なり語数とは同じ単語が何回用いられてもこれを一語とカウントし、全体で異なる単語がいくつかあるかを集計するやり方である。

3) 延べ語数とは同じ単語でも用いられる度ごとに加算して得られる総数で統計する方法である。

よる相違への考察に力点を置かないため、中国人全体と日本人全体のデータを使用し、接辞の種類、割合、語構成、意味機能などに焦点を当てて、日中両言語における性向語彙の諸相の一端を明らかにすると同時に、特に接頭辞について両者の特性を浮かび上がらせることが一つの主な目的である。

性向語彙は「人気者、明るい」のような語形式以外、「社交的な人」といった連語形式や「八方美人、尻が重い、怖い物知らず、伊達の薄着」などの慣用句、ことわざ及び俗語という形式もある。ひいては、「誰にでも話しかける」のように、定型性と普遍性に欠けて、まだ定着していない句形式も見られる(施・欒2018)。しかし、接辞の統計を行なう際に、語形式のみを取り上げて詳しく比較することが最も望まれる。よって、本論文はまず、111の評価項目ごとにエクセルで選択条件をつけ、例えば「大～」までを選別する。その後、連語形式、句形式中の「大～」を削除する。表1は接頭辞の種類と語数(異なり語数と延べ語数)を統計した結果である。

表1 日中韓性向語彙における接頭辞の種類と語数<sup>4)</sup>

| 国別  |     | 種類(種) | 異なり語数<br>(語) | 延べ語数<br>(語) | (A) 異なり語数<br>(語) | (A) 延べ語数<br>(語) |
|-----|-----|-------|--------------|-------------|------------------|-----------------|
| 日本人 | 全体  | 14    | 150          | 705         | 8,062            | 18,162          |
|     | 社会人 | 10    | 144          | 608         | 6,616            | 12,917          |
|     | 大学生 | 14    | 104          | 466         | 3,406            | 7,913           |
| 中国人 | 全体  | 11    | 329          | 1,795       | 9,278            | 24,081          |
|     | 社会人 | 11    | 182          | 1,111       | 6,197            | 15,261          |
|     | 大学生 | 11    | 218          | 739         | 3,956            | 8,832           |
| 韓国人 | 全体  | 25    | 69           | 525         | 6,030            | 20,144          |
|     | 社会人 | 18    | 39           | 379         | 2,113            | 10,211          |
|     | 大学生 | 22    | 51           | 146         | 4,688            | 9,936           |

4) 表1では、「(A)異なり語数」と「(A)延べ語数」はそれぞれ、採集された語形式の性向語彙の総異なり語数と総延べ語数を指す。例えば、日本人全体が使用する語形式の性向語彙の異なり語数は8062である。そのうち、接辞を含むものは150語となる。

ここで、数多くの「同形異義語」があることは日中韓性向語彙における大きな特徴の一つとして指摘できる。「同形異義語」は一つの単語が幾つもの評価項目に使われる言葉であるが、形が同じであるとしても、違う評価項目に使われれば、違う意味を指している（施・李2020a: 133）。例えば、“大”を接頭辞とする“大嘴（大きな口—口数が多い、嘘つきなど）”は、第67項目「口数の多い人・おしゃべり」、第72項目「口のうまい人・口から出任せを言う人」、第73項目「誇り大家」、第79項目「他人のことに口出しする人」の、合計4つの評価項目に用いられる。同形異義語の延べ語数を集計する場合は、回数ごとに加算することにしたが、異なり語数については、1語とカウントすることにした。即ち、“大嘴”の延べ語数と異なり語数はそれぞれ4語と1語と計算した。

表2 接頭辞と接尾辞の種類と語数（三国人全体）

|     | 日本人       |                  |                 | 中国人       |                  |                 | 韓国人       |                  |                 |
|-----|-----------|------------------|-----------------|-----------|------------------|-----------------|-----------|------------------|-----------------|
|     | 種類<br>(種) | 異なり<br>語数<br>(語) | 延べ<br>語数<br>(語) | 種類<br>(種) | 異なり<br>語数<br>(語) | 延べ<br>語数<br>(語) | 種類<br>(種) | 異なり<br>語数<br>(語) | 延べ<br>語数<br>(語) |
| 接頭辞 | 14        | 150              | 705             | 11        | 329              | 1,895           | 25        | 69               | 525             |
| 接尾辞 | 58        | 681              | 3,586           | 41        | 1,185            | 6,529           | 59        | 877              | 8,046           |

本論文は同じ方法で接尾辞の種類と語数を統計、計算を行なったが、結果は表2の通りである。日中韓性向語彙に用いられる接頭辞はそれぞれ14種、11種と25種であるのに対し、接尾辞は日本語58種、中国語41種、韓国語59種となる。つまり、三言語も接尾辞の種類は接頭辞を遥かに上回り、より多様性に富んでいるという共通点が洞察できる。しかし、日本語の接尾辞は中国語より発達し、17種多くあるにもかかわらず、異なり語数にしても、延べ語数にしても、日本語より中国語の方が圧倒的に多いことを見逃してはいけない。この結果は中国人が使う接尾辞の中に、同形異義語に属するものが多いことを物語っている。同形異義語の使用頻度を明らかにしようとするには、異なり語数と延べ語数を接尾辞の数で割ればよい。すなわち、日本語は $681/58=11.7$ 、 $3586/58=61.8$ 、中国語は $1185/41=28.9$ 、 $6529/41=159.2$ 、韓

国語は $877/59=14.8$ 、 $8046/59=136.3$ となる。中国語の接尾辞の平均的な使用頻度は日韓両言語より極めて高いことがわかる。言い換えれば、評価対象と評価度合いの違いに応じて同形異義語を以て人を称讃したり、非難したりすることが、中国人は日韓両国人に勝っている。

以下は、接辞に関する比較研究の一環として、まず両言語の接頭辞を中心に構造的意味と評価的意味の二つを核として進めることが重要となってくる。表3、表4は全体の日本語の接頭辞と中国語の接頭辞を示したものである。

表3 日本語の接頭辞（全体）

| 順番 | 接頭辞 | 異なり語数（語） | %     | 延べ語数（語） | %     | 評価視点 <sup>5)</sup> |
|----|-----|----------|-------|---------|-------|--------------------|
| 1  | お   | 51       | 34.0% | 284     | 40.3% | △                  |
| 2  | 無   | 41       | 27.3% | 167     | 23.7% | —                  |
| 3  | 不   | 14       | 9.3%  | 50      | 7.1%  | —                  |
| 4  | 大   | 13       | 8.7%  | 115     | 16.3% | △                  |
| 5  | 馬鹿  | 11       | 7.3%  | 44      | 6.2%  | —                  |
| 6  | こ   | 5        | 3.3%  | 9       | 1.3%  | △                  |
| 7  | くそ  | 4        | 2.7%  | 11      | 1.6%  | —                  |
| 8  | 超   | 3        | 2.0%  | 3       | 0.4%  | △                  |
| 9  | 駄目  | 2        | 1.3%  | 8       | 1.1%  | —                  |
| 10 | 鬼   | 2        | 1.3%  | 2       | 0.3%  | —                  |
| 11 | どら  | 1        | 0.7%  | 6       | 0.9%  | —                  |
| 12 | ご   | 1        | 0.7%  | 4       | 0.6%  | △                  |
| 13 | ゴミ  | 1        | 0.7%  | 1       | 0.1%  | —                  |
| 14 | ノン  | 1        | 0.7%  | 1       | 0.1%  | —                  |
| 合計 |     | 150      |       | 705     |       |                    |

5) 「+」「△」「-」はそれぞれ「プラス評価」「ニュートラル評価」と「マイナス評価」を指す。プラス、マイナス、ニュートラルという評価分類に際して、日中それぞれ20名母語話者を対象に、プラス、マイナス、ニュートラルをそれぞれ「思う」「どちらかと言えば思う」「思わない」と分け、面接調査と補足調査を行なった。



「性向語彙」における「接辞」についての比較研究

表4 中国語の接頭辞（全体）

| 順番 | 接頭辞 | 異なり語数 | %     | 延べ語数  | %     | 評価視点 |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|------|
| 1  | 小   | 84    | 25.5% | 482   | 25.4% | △    |
| 2  | 大   | 80    | 24.2% | 319   | 16.8% | △    |
| 3  | 老   | 79    | 24.0% | 526   | 27.8% | △    |
| 4  | 死   | 27    | 8.2%  | 220   | 11.6% | —    |
| 5  | 二   | 14    | 4.3%  | 80    | 4.2%  | —    |
| 6  | 花   | 12    | 3.6%  | 33    | 1.7%  | —    |
| 7  | 臭   | 10    | 3.0%  | 76    | 4.0%  | —    |
| 8  | 活   | 8     | 2.4%  | 136   | 7.2%  | —    |
| 9  | 鬼   | 7     | 2.1%  | 14    | 0.7%  | —    |
| 10 | 半   | 6     | 1.8%  | 7     | 0.4%  | —    |
| 11 | 非   | 3     | 0.9%  | 3     | 0.2%  | —    |
|    | 合計  | 330   |       | 1,896 |       |      |

表3と表4に示したように、異なり語数に関して、「大」/“大”は日本語で第4位、中国語で第2位、両国語ともにベスト10位に入っており、対照研究に値する接頭辞の一つである。以下は、「大」/“大”という接頭辞を中心に、語形式と評価意味について比較、分析を行なうと同時に、それぞれの特質を究明しようとする。性向語彙は日常的要素、話し言葉の特徴（俗語、口頭など）が顕著に現れている特質がある。一方、辞書は一般的に文学作品によく出る言葉或いは表現などを載せている。つまり、書き言葉の特徴をもっている辞書と違って、性向語彙には性向語彙そのものの独自の表現の仕方がある。従って、アンケート調査で獲得した性向語彙は辞書に収録されるかどうかを確認する形を取った。本論文で使った辞書は『広辞苑』（第6版）、『広辞苑』（逆引）、『中日大辞典』（第3版）、『学研国語大辞典』（第2版）、『三省堂国語辞典』（第6版）、『新明解国語辞典』（第6版）、『現代漢語词典』（第5版）及び『現代漢語词典』（第6版）などである。

## 3. 「大」と“大”の接頭辞について日中全体の比較

まず、「大」を接頭辞とする日本人全体の性向語彙を挙げて検討する。表5は抽出と統計の結果であるが、異なり語数と延べ語数はそれぞれ24語と202語に達している。表中( )の中にある数字は、その語例が使用される評価項目の総数を指すが、その後の数字は延べ語数を示したものである。例えば、「(2)111」は、「大食い」が111項目の中の第47項目「大食漢」、第49項目「食べるのが特別早い人」という2つの評価項目に用いられるが、延べ語数が111語であることを意味する。また、表5に示したように、網かけの語は上述した辞書に載っている単語と同じもので、それ以外の語例は上の辞典になく、性向語彙の調査で収集されたものである。「大」を接頭辞とする24語の中に、11語は辞書と重複するが、それを占める割合は多くて45.8%に達している。つまり、半分ぐらいの語例は辞書に収録されず、室山(1987)が述べている性向語彙の斬新さと多様性、及び「生活語彙」としての話し言葉の性質が一層検証されるかと考えられる。

表5 「大」を接頭辞とする日本語の性向語彙  
(異なり語数24語 延べ語数202語 辞書と重複した比率：11/24=45.8%)

|         |       |        |        |       |       |      |       |
|---------|-------|--------|--------|-------|-------|------|-------|
| 大食い     | 大食らい  | 大風呂敷   | 大物     | 大飯食い  | 大法螺吹き | 大酒飲み | 大食い王  |
| (2) 111 | 22    | (2) 13 | (4) 12 | 6     | (2) 5 | 5    | 4     |
| 大飯喰らい   | 大トラ   | 大食漢    | 大口     | 大食家   | 大喰らい  | 大道楽  | 大嘘吐き  |
| 3       | (2) 3 | (2) 3  | (2) 2  | 2     | 1     | 1    | 1     |
| 大馬鹿     | 大胡麻播り | 大盛り    | 大食い男   | 大天気野郎 | 大嘘つき  | 大馬鹿者 | 大食い野郎 |
| 1       | 1     | 1      | 1      | 1     | 1     | 1    | 1     |

また、語構成の視点に立って考えれば、24の語例を以下のように分類できる。

① 大+名詞

大風呂敷 [21, 23]<sup>6)</sup>、大道楽 [57]、大物 [19, 21, 22, 84]、大トラ [50, 52]、大口 [67, 73]、大馬鹿 [96]

② 大+名詞+動詞連用形

大胡麻播り [76]、大酒飲み [50]、大飯食い [47] 大飯喰らい [47]、大嘘吐き [72]、大法螺吹き [71, 73]、大嘘つき [72]

③ 大+名詞+接尾辞

大食漢 [47, 49]、大馬鹿者 [94]、大食家 [47]、大天気野郎 [26]

④ 大+動詞連用形

大食い [47, 49]、大食らい [47]、大喰らい [49]、大盛り [47]

⑤ 大+動詞連用形+接尾辞

大食い野郎 [47]、大食い王 [47]、大食い男 [47]

日本語の性向語彙には、「大」は異なり語数の第4位を占める大切な接頭辞として、発音は訓読の「おお」と音読の「たい(漢音)、だい(呉音)」という2種類がある。訓読の「おお」は一般的に固有語に付着するが、「大風呂敷(おおぶろしき)」や「大物(おおもの)」などがある。一方、「大食家(たいしょくか)」や「大食漢(たいしょくかん)」など音読の「たい(漢音)」はほとんど中国出自の漢語と結合するものである。

「大」の意味について、『日本国語大辞典』には以下のような説明がある。「①(形動)数量や形または規模範囲などが大きいこと。②(形動)ものごとの程度が大きいこと、はなはだしいこと。盛んであること。③実際よりも誇張して偉そうであったり大きいこと」とある(北原1976: 504-505)。本論文では、程度を表す「大」は名詞だけではなく、動詞かつ形容詞の前につくこともあり、非常に強い造語力を持つ接辞の一つであるといえよう。しかも「大+名詞」の類について、その後「漢」「家」などの接尾辞を付け加えるこ

---

6) [ ] 中の数字は評価項目の番号を指す。例えば、「大風呂敷」を使用する評価項目は、第21項目「大胆・豪胆な人」と第23項目「横柄な人・生意気な人」である。111評価項目の詳細は文末の付録を参照されたい。

とによって、「大嘔吐き」「大食漢」「大食家」「大天気野郎」などの多様多彩な性向語彙が作り出されている。また「大+動詞連用形」或いは「大+動詞連用形+接尾辞」といったパターンも分類できる。例えば、111項目の中の第47項目「大食漢」において、「大食らい」「大食い男」「大食い野郎」「大食い王」などの性向語彙が生まれ、その繁用振りを見事に見せている。このように、接尾辞の使用は大食いの度合いをアップさせるとともに、擬人化して、抽象的な動作を具象的にする効果をもたらす。しかも「大食い男」→「大食い野郎」→「大食い王」とあるように、「大食漢」という性向行為に対する評価程度は段階を追って深まっていく傾向性が見られる。なかんずく、「大食い王」の「王」は、前部形態素がそれに付くと名詞化して、そのような人かまたはその動作などをする人を大げさに或いは強く評価することになる。ここで注目を要するのは、「大食い男」「大食漢」「大食い野郎」など、下線を引いた語例はすべて男性を示す接尾辞という特徴が目立っている。これらの語例から日本人の巧みな発想法と造語力が十分に読み取れるし、施(2017)によってまとめられた性向語彙の男女差という特徴の証拠ともなりうる。つまり、第47項目の「大食漢」は、女性より男性の方に着目し、よく食べる男性の特徴が一層浮き彫りになっている。

日本語の特有な語例は「大トラ」が挙げられる。それは「虎になる」という慣用句を土台に、作り出された単語で、第50項目「大酒飲み」という性向を持っている人を比喩的に評価する。日本で虎といたら、中島敦が1942年に発表した虎を題材にする名作『山月記』を思い出す人が多かろう。しかし、日本列島にはそもそも虎が棲息していなかった。よって、その狂った人間が虎に変身した物語は、中国の『太平広記』における「人虎伝」という伝説の影響を受けていると考えられる。「虎になる」という慣用句は中国に由来したものとはいうものの、同様な発想法による“大虎”のような性向語彙は、中国語に確認できない。これは、日本人が中国語から示唆を得て特別な言語表現の産出に力を尽くしたり、工夫を凝らしたりすることが裏付けられている。以下は“大”を接頭辞とする中国語の性向語彙を分類しながら、その使用実態を探ってみたい。

「性向語彙」における「接辞」についての比較研究

表6 “大”を接頭辞とする中国語の性向語彙

(異なり語数80語 延べ語数319語 辞書と重複した比率: 25/80=31.3%)

|   |                             |                             |                            |                             |                     |                                 |  |                                 |                            |
|---|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------|---------------------------------|--|---------------------------------|----------------------------|
| 大好人<br>立派な人                               | 大老粗<br>乱暴                   | 大胆儿<br>大胆                   | 大活宝<br>道化者                 | 大肚汉<br>大食漢                  | 大肚皮<br>大きな腹<br>—大食い | 大气<br>気前がよい                     | 大善人<br>優しい人                                | 大嘴巴<br>大きな口<br>—早食い、<br>口数が多いなど | 大姑娘<br>箱入り娘                |
| (4) 47                                    | (3) 30                      | (2) 25                      | (2) 18                     | (2) 16                      | 14                  | 13                              | (2) 8                                      | (5) 7                           | (3) 6                      |
| 大明白<br>物知り                                | 大胃王<br>胃が大きな人—<br>大食い王      | 大胆<br>大胆                    | 大公鸡<br>大きな雄<br>鶏—横柄<br>な人  | 大活王<br>大法螺吹<br>き            | 大款<br>大金持ち          | 大脸猫<br>顔が大きな<br>猫—鉄<br>面皮な人     | 大忙人<br>じっとして<br>いられない<br>人                 | 大男子主义<br>わがまま<br>な子             | 大骗子<br>大嘘つき                |
| 6   | (2) 6                       | (2) 5                       | (2) 5                      | (2) 5                       | (2) 5               | 4                               | (2) 4                                      | (2) 4                           | 4                          |
| 大嘴<br>大きな口<br>—口数の<br>多い、嘘<br>つきなど        | 大聪明<br>頭がいい                 | 大忽悠<br>大嘘つき                 | 大酒包<br>大酒飲み                | 大喇叭<br>歩くスピー<br>—カー         | 大懒虫<br>大怠け者         | 大舌头<br>舌が回ら<br>ない               | 大侠<br>義侠の者                                 | 大笨蛋<br>大馬鹿者                     | 大胆子<br>大胆                  |
| (4) 4                                     | 3                           | (2) 3                       | 3                          | (2) 3                       | 3                   | (2) 3                           | (2) 3                                      | 2                               | 2                          |
| 大肚量<br>大食い                                | 大法精<br>大法螺吹<br>き            | 大酒鬼<br>大酒飲み                 | 大懒蛋<br>大怠け者                | 大懒人<br>大怠け者                 | 大老爷<br>気難しい<br>男性   | 大啰嗦<br>くどく話<br>す                | 大咧咧<br>物事を深く<br>考えない                       | 大瓣蒜<br>お節介                      | 大吃包<br>大食い                 |
| 2   | 2                           | 2                           | 2                          | (2) 2                       | 2                   | 2                               | 2  | 1                               | 1                          |
| 大虫<br>大きな虫<br>—インタ<br>—ネット<br>中毒がひど<br>い人 | 大刺头<br>非常に扱<br>いにくい<br>人    | 大粗人<br>乱暴な人                 | 大胆人<br>大胆な人                | 大肚<br>太っ腹                   | 大肚子<br>大きな腹<br>—大食い | 大哥<br>兄貴                        | 大哥大<br>でかい携<br>帯電話—<br>羽振りが<br>いい男性        | 大闺女<br>箱入り娘                     | 大黄牛<br>大きな黄<br>牛—鈍く<br>さい人 |
| 1   | 1                           | 1                           | 1                          | 1                           | 1                   | 1                               | 1  | 1                               | 1                          |
| 大姐大<br>羽振りが<br>いい女性                       | 大酒缸子<br>大きな酒<br>の壺—大<br>酒飲み | 大酒坛子<br>大きな酒<br>がめ—大<br>酒飲み | 大酒桶<br>大きなタ<br>ンク—大<br>酒飲み | 大侃<br>口から出<br>任せを言<br>う     | 大懒猫<br>無精猫          | 大理石<br>大理石—<br>冷たい人             | 大律师<br>能弁で立<br>派な弁護<br>士                   | 大能人<br>上手い人                     | 大女人<br>自己主張<br>の強い女<br>性   |
| 1   | 1                           | 1                           | 1                          | 1                           | 1                   | 1                               | 1  | 1                               | 1                          |
| 大嗓门<br>大きな喉<br>—何事も<br>大きく話<br>す人         | 大嫂<br>兄嫁                    | 大傻<br>大馬鹿者                  | 大傻傻<br>大馬鹿者                | 大傻子<br>大馬鹿者                 | 大舌妇<br>おしゃべ<br>りな女  | 大手<br>大きな手<br>—金品を<br>贅沢に使<br>う | 大手笔<br>大きな手<br>—金離れ<br>がいい                 | 大手骨<br>大きな手<br>—豪勢に<br>金を使う     | 大水牛<br>大きな水<br>牛—夏に<br>弱い人 |
| 1   | 1                           | 1                           | 1                          | 1                           | 1                   | 1                               | 1  | 1                               | 1                          |
| 大淘气包<br>手に負え<br>ない子供                      | 大腕<br>大きな腕<br>—大食い          | 大胃口<br>底なし胃<br>袋—大食<br>い    | 大小姐<br>気難しい<br>お嬢さん        | 大猩猩<br>大きなゴ<br>リラ—恐<br>ろしい人 | 大虚<br>大嘘つき          | 大学生<br>大学生—<br>頭のいい<br>人        | 大学士<br>皇帝の諮<br>問に答える<br>古代官<br>職—頭の<br>いい人 | 大白话<br>でたらめ                     | 大漢人<br>暑がり屋                |
| 1   | 1                           | 1                           | 1                          | 1                           | 1                   | 1                               | 1  | 1                               | 1                          |

表6は“大”を接頭辞とする中国語の性向語彙であるが、異なり語数と延べ語数はそれぞれ80語と319語である。また、異なり語数のうち、辞書と一致する語数は25語で、全体に占める割合は31.3%である。さらに、日本語のそれと比べると、辞書との重複率が少なく、両者の開きが14.5%である(日本語の重複率45.8%、中国語31.3%)。重複率の少ないことから中国人が日常生活の中に“大”をもって巧みに言葉を創出する実態がありありと浮き彫りになる。言い換えれば、性向語彙は辞書と違って生活語彙の特徴(口頭的バリエエティに富み、個人裁量の余地があるなど)を色濃く反映している。

中国語における“大”という接頭辞を使う性向語彙について、下記のように分類できる。

#### ① 大王名詞

大俠(義侠の者) [59, 102]、大老爷(気難しい男性) [107]、大瓣蒜(お節介) [60]、大虫(大きな虫—インターネット中毒がひどい人) [14]、大肚量(大食い) [47]、大刺头(非常に扱いにくい人) [110]、大气(気前がよい) [55]、大肚(太っ腹) [55]、大胆(大胆) [21]、大姑娘(箱入り娘) [20, 28, 68]、大猩猩(大きなゴリラ—恐ろしい人) [62]、大公鸡(大きな雄鶏—横柄な人) [23, 64]、大嘴(大きな口—口数の多い、嘘つきなど) [67, 72, 73, 79]、大嘴巴(大きな口—早食い、口数が多いなど) [49, 64, 67, 79, 82]、大喇叭(歩くスピーカー) [67, 82]、大律师(能弁で立派な弁護士) [69]、大学士(皇帝の諮問に答える古代官職—頭のいい人) [93]、大学生(大学生—頭のいい人) [93]、大款(大金持ち) [55, 57]、大酒桶(大きなタンク—大酒飲み) [50]、大理石(大理石—冷たい人) [88]、大水牛(大きな水牛—夏に弱い人) [46]、大哥(兄貴) [61]、大嫂(兄嫁) [42]、大嗓门(大きな喉—何事も大きく話す人) [83]、大闺女(箱入り娘) [20]、大手(大きな手—金品を贅沢に使う) [55]、大腕(大きな腕—大食い) [47]、大白话(でたらめ) [72]、大黄牛(大きな黄牛—鈍くさい人) [9]、大小姐(気難しいお嬢さん) [107]、大哥大(でかい携帯電話—羽振りがいい男性) [55]、大姐大(羽振りがいい女性) [55]、大肚皮(大きな腹—大食い) [47]

② 大+名詞+接尾辞

大胆子 (大胆) [21]、大肚子 (大きな腹—大食い) [47]、大女人 (自己主張の強い女性) [110]、大舌头 (舌が回らない) [70, 82]、大胆儿 (大胆) [21, 39]、大肚汉 (大食漢) [20, 47]、大胃王 (胃が大きな人—大食い王) [47, 48]、大话王 (大法螺吹き) [72, 73]、大酒包 (大酒飲み) [50]、大脸猫 (顔が大きな猫—鉄面皮な人) [106]、大话精 (大法螺吹き) [73]、大酒鬼 (大酒飲み) [50]、大酒缸子 (大きな酒の壺—大酒飲み) [50]、大酒坛子 (大きな酒がめ—大酒飲み) [50]、大胆人 (大胆な人) [21]、大漠人 (暑がり屋) [46]

③ 大+名詞+名詞

大男子主义 (わがままな子) [28, 35]、大舌妇 (おしゃべりな女) [82]、大手笔 (大きな手—金離れがいい) [55]、大手骨 (大きな手—豪勢に金を使う) [55]、大胃口 (底なし胃袋—大食い) [47]

④ 大+形容詞

大聪明 (頭がいい) [93]、大傻 (大馬鹿者) [73]、大老粗 (乱暴) [32, 47, 83]、大虚 (大嘘つき) [73]、大傻傻 (大馬鹿者) [22]

⑤ 大+形容詞+接尾辞

大好人 (立派な人) [61, 100, 102, 103]、大忙人 (じっとしてられない人) [24, 25]、大懒虫 (大怠け者) [8]、大懒猫 (無精猫) [8]、大懒蛋 (大怠け者) [8]、大懒人 (大怠け者) [8, 18]、大粗人 (乱暴な人) [32]、大淘气包 (手に負えない子供) [33]、大傻子 (大馬鹿者) [96]、大善人 (優しい人) [102, 103]、大能人 (上手い人) [1]、大笨蛋 (大馬鹿者) [96]

⑥ 大+動詞

大侃 (口から出任せを言う) [72]、大忽悠 (大嘘つき) [71, 73]、大啰嗦 (くどく話す) [105]、大明白 (物知り) [95]、大咧咧 (物事を深く考えない) [20]

⑦ 大+動詞+接尾辞

大吃包 (大食い) [47]、大骗子 (大嘘つき) [71]、大活宝 (道化者)

[37,74]

上の分類からわかるように、接頭辞としての“大”は中国語で主に名詞と形容詞、特に名詞の前につくことが多い。現代中国語の文法規範に照らすと、“大”は形容詞形態素に属するもので、名詞を修飾しやすいのがその一因であろう。

『現代漢語詞典』(2012:238)を繙けば、“大”は「年長」の他、「体積や面積、数量、力、強度等が一般的程度或いは比較対象を超える」「程度が強い」などの意味を指している。また、日本語と比べてみると、意味及び評価視点において中国語の“大”は日本語のそれと一致する点が見られる。つまり、中国語の“大”は日本語と同じく後部形態素の程度を強化、誇大化する意味機能を持っている。例えば、第8項目「怠け者・仕事をしない人」、第47項目「大食漢」、第50項目「大酒飲み」、第71項目「嘘つき」及び第103項目「穏和人・いわゆる善人」では、それぞれ“大懶虫(大怠け者)、大吃包(大食い)、大酒鬼(大酒飲み)、大騙子(大嘘つき)、大善人(優しい人)”を用いる。接頭辞の“大”はそれらの性向行為の度合いを大いに上げることに積極的に機能する。更に、第47項目「大食漢」及び第48項目「意地汚い人」に使用される“大胃王(胃が大きな人—大食い王)”のように、語基の前後に接頭辞と接尾辞を同時につけ加えることによって派生した語例もある。接頭辞の“大”であれ、接尾辞の“王”であれ、程度の強いことを意味し、これらを合わせて生成した“大胃王”は、「食べるのが多い」という特徴を一層際立たせている。

“大”と結合する名詞をさらに細分できる。まず、“大虫(大きな虫—インターネット中毒がひどい人)、大猩猩(大きなゴリラ—恐ろしい人)、大公鸡(大きな雄鶏—横柄な人)”などは一つのタイプで、「大+動物名詞」というパターンは日中両国語では共通している。中国語の“大虫”は最初、虎を意味していたが、徐々に流行っているネット言葉へと変遷し、現在に至って“大的网虫(インターネット中毒がひどい人)”を指すように転義した。中国人は性向語彙における「放蕩者」を“大虫”に見立て、そのような性向の人を評価、批判する。



二つ目は「大＋親族名詞／身分／地位」といったパターンである。例えば、「大小姐（気難しいお嬢さん）、大哥（兄貴）、大嫂（兄嫁）、大闺女（箱入り娘）、大学士（皇帝の諮問に答える古代官職一頭のいい人）、大律師（能弁で立派な弁護士）」などである。

三つ目は“大酒缸子（大きな酒の壺—大酒飲み）、大哥大／大姐大（でかい携帯電話—羽振りがいい男性／女性）”などの「大＋事物名詞」というパターンである。“大哥大”は、中国人が1980年代の大きな携帯電話を呼称する俗語である。香港の映画におけるマフィアのボスはよくそのような携帯電話を手に持って部下に指令を出すイメージで登場したため、“大哥大”はマフィアのボスの特徴付けるシンボルとなり、また換喩として中国語に定着したのである（周1994: 39）。性向語彙の場合となると、中国人は“大哥大”を以て第55項目「気前のよい人」に、豪爽な性格を持っている人として比喩、評価している。また“大姐大”は“大哥大”と似ている発想法で造語されたものであり、しかも、同じく第55項目「気前のよい人」に活用される。これについて、施・欒（2017a: 26）は、中国の社会では“大哥大”と“大姐大”の使用は男性のみならず、女性も「気前のよい」ことを行ない、また「気前のよい人」になると期待される中国人の文化的心理をよく反映していると論じている。

四つ目は「大＋身体名詞」というパターンである。“大腕（大きな腕—大食い）、大肚皮（大きな腹—大食い）、大胃口（底なし胃袋—大食い）、大嘴（大きな口—口数の多い、嘘つきなど）、大嘴巴（大きな口—早食い、口数が多い、評判好きなど）、大嗓门（大きな喉—何事も大きく話す）”などが列挙できる。“大腕”はもともと大道芸人の間で使用された貶し言葉で、隠語として“大万”とも書かれている。“大万”は元来下品で洗練されていないという特別な意味とニュアンスを持っていた。しかしながら、時代の変遷とともに、“大腕”は評価視点がマイナスからプラスへの転換を経て、今の中国社会では高い評判を浴び、強い影響力を持つ芸人の代名詞となったという（沈1999: 15）。“大腕”を「大食い」のような性向の人或いは行為を指す原因について、今後の追加調査を通じてその動態を探りたい。

尚、“大嘴巴”が使われる評価項目は5つあり、それぞれ第49項目「食べるのが特別早い人」、第64項目「自慢する人」、第67項目「口数の多い人・おしゃべり」、第79項目「他人のことに口出しする人」、第82項目「評判言いい」である。“大嘴巴”の“大”は口が大きいという字面の意味ではなく、大風呂敷を広げるとか、口が早いとか或いは話が多いなどマイナス的な意味を表している。即ち、“大”は接頭辞として、語基の程度とモダリティを上昇させるだけではなく、新たな意味の誕生にも働きかける。これは性向語彙の語構成上の特色ともいえる。また、別の視点から考えると、“大嘴巴”が5つの意味項目に重複して現れるのは、その単語の意味分野が広いことを示すだけでなく、日常生活で使用される頻度も高いかと推定される。さらに、中国人は第47項目「大食漢」という性向行為に対して特別な関心を寄せ、“大胃口（底なし胃袋—大食い）、大肚汉（大食漢）、大胃王（胃が大きな人—大食い王）”などの大量な性向語彙を創出し<sup>7)</sup>、どれもマイナス評価に属している。ただし、3語の間には微妙な差が吟味でき、日本語の「大食い男→大食い野郎→大食い王」と同じように、非難の度合いは“大胃口→大肚汉→大胃王”の順で多様化し、また弱から強へと展開していく特徴を見せている。

## おわりに

以上の考察と分析を踏まえて、本論文の結論は以下のようにまとめられる。

第一は、日中両言語における「大」/“大”を接頭辞とする性向語彙の異なり語数は、それぞれ第4位と第2位である。即ち、両言語を問わず、「大」/“大”は強い造語力を備えることが明白となっている。しかし、中国語の異なり語数と延べ語数は80語と319語で、日本語の24語と202語を大いに越えたことが注意を要する。

---

7) “大胃王、大肚汉”は第47項目「大食漢」の他、それぞれ第48項目「意地汚い人」と第20項目「のんきな人」にも使える。

第二は、語構成のパターンについて、日本語と中国語はそれぞれ5種と7種に分けられる。中国語では、“大”の後部形態素は名詞であることが圧倒的に多く、全体の占める割合は68.8%である。日本語も同様な傾向を露呈し、「大+名詞+名詞/接尾辞」といったパターンの語例は全体の70.8%に達している。一方、相違点について、“大”が形容詞の前につく語例が中国語に17語あり、二番目に多い。また、異なり語数の21.2%に達している。しかし、同様なパターンの日本語の語例を「大馬鹿」という1語のみ抽出した場合、中国語と顕著な差異をなしている。更に、「大」/“大”と結合する名詞からみれば、中国語は「親族/身分/地位名詞」と「身体名詞」が多用されるのに対して、日本語にはそのような名詞は極めて少ない。これは中国語の大きな特徴の一つであるといえよう。

第三は、評価項目への関心度について、両国人は第47項目「大食漢」という性向行為に特別な注意を払い、多彩豊富な性向語彙を造り出すという点では共通している。ただし、中国人は飲食と関わりを持つ身体器官を造語発想に、“大胃口（底なし胃袋—大食い）、大肚汉（大食漢）大胃王（胃が大きな人—大食い王）”などを造語した反面、日本人はものを食べる動作そのものに関心を注ぎ、「大食い、大飯食い、大食漢、大食い野郎」などの独特な性向語彙を創出したのである。

「生活の特色はおのずから語彙の実相に色濃く反映し、逆に、語彙が土地の人びとのものの認識の仕方や価値観を強く規制するという事実も認められる」と室山（1987:3）が説いているように、諸民族の人々は性向語彙によって対人評価行動を営んでいるため、民族文化の根となるものを正しく、また深く理解しようとするれば、性向語彙の構造と特徴を全面的にかつ総合的に研究すべきである。接辞はまさにその目的を叶わせる意義深い視点の一つである。日中両言語は勿論のこと、日中韓三言語の接辞を明らかにすることは緊急な課題となっている。今後はこれらの問題を積極的に推し進めていく必要がある。

(17BY219)、蘇州大学校委托項目による研究成果の一部である。

参考文献

- 井上博文 (2001) 「方言性向語彙の造語法」『学大国文』第44号, pp.1-24.
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』ひつじ書房.
- 北原保雄 (1976) 『日本国語大辞典』第十二卷, 小学館.
- 松村明 (1971) 『日本文法大辞典』明治書院.
- 室山敏昭 (1987) 『生活語彙の基礎的研究』和泉書院.
- 室山敏昭 (1993) 「中国地方方言の性向語彙資料 (I)」『内海文化研究紀要』第22号, pp. 1-33.
- 室山敏昭 (1998) 『生活語彙の構造と地域文化』和泉書院.
- 室山敏昭 (2001) 『「ヨコ」社会の構造と意味—方言性向語彙に見る—』和泉書院.
- 施暉・欒竹民 (2017a) 「中日両言語における『性向語彙』についての対照研究—『気前のよい人』を中心に—」『国文学攷』第233号, pp.15-29.
- 施暉・欒竹民 (2018) 「中日両言語における『性向語彙』の一考察—『人付き合いの良い人、親しいやすい人』を中心に—」『広島国際研究』第24号, pp.85-94.
- 施暉・李凌飛 (2020a) 「中日両言語における『性向語彙』についての対照研究」『日中語彙研究』第10号, pp.127-147.
- 辞海編輯委員会 (1980) 『辞海』上海辞書出版社.
- 高更生編 (1992) 『現代漢語知識大辞典』山東教育出版社.
- 李成浩 (2009) 『中国・日本・韓国大学生性向詞彙比較研究』中国伝媒大学出版社.
- 沈曉静 (1999) 「現代漢語新詞の人文因素」『河海大学学报』第2号, pp.12-17.
- 施暉 (2017) 「論中日韓三国“性向詞彙”中的男女差異」『蘇州科技大学学报』第3号, pp.42-47.
- 施暉・欒竹民 (2017b) 『中日韓三国“性向詞彙”及文化比較研究』外語教学与研究出版社.
- 施暉・李凌飛 (2020b) 「“動物比喻詞彙”的漢日对比研究—以“性向詞彙”中的“虫”族喻詞為中心」『東北亜外語研究』第4号, pp.29-37.
- 周洪波 (1994) 「修辞現象的詞彙化—新詞語產生的重要途径」『語言文字応用』第1号, pp.39-42.
- 朱亜軍・田宇 (2000) 「現代漢語詞綴の性質及其分類研究」『學術交流』第2号, pp.134-137.
- 中国社会科学院語言研究所詞典編輯室 (2012) 『現代漢語詞典』(第6版) 商務印書館.

「性向語彙」における「接辞」についての比較研究

付録

表 性向語彙111意味項目

|                                    |    |                 |                       |
|------------------------------------|----|-----------------|-----------------------|
| I. 動作・行為の様態に関するもの                  | 37 | 滑稽な事をする人        | <心にもないことを言う人>         |
| I a. 仕事に対する態度に関するもの                |    | <好奇心の強い人>       | 75 お世辞言い              |
| A. 仕事に対する意欲・能力のある人                 | 38 | 物見高い人           | 76 お追従言い              |
| 1 働き者                              | 39 | 冒険好きな人          | <性悪なことを言う人>           |
| 2 仕事の上手な人                          | 40 | 出歩くのが好きな人       | 77 悪意のあることを言う人・毒舌家    |
| 3 仕事の速い人・要領のよい人                    |    | <感情表出で偏向のある人>   | 78 口やかましい人            |
| 4 仕事を丁寧・丹念にする人                     | 41 | 怒りっぽい人          | 79 他人のことに口出しする人       |
| 5 丁寧すぎる人                           | 42 | 涙もろい人           | 80 不平を言う人             |
| 6 辛抱強い人                            | 43 | 良く泣く人           | 81 理屈っぽく言う人           |
| 7 人1倍仕事に熱中する人                      | 44 | いつもにやにやしている人    |                       |
| B. 仕事に対して意欲・能力の欠ける人                |    | <気温に対して偏向のある人>  | II c. 言語活動の在り方に関するもの  |
| 8 怠け者・仕事をしない人                      | 45 | 寒がりな人           | 82 評判言い               |
| 9 仕事の下手な人                          | 46 | 暑がりな人           | 83 言葉使いが乱暴な人          |
| 10 仕事の遅い人・要領の悪い人                   |    | <飲食に偏向のある人>     |                       |
| 11 仕事を雑にする人                        | 47 | 大食漢             | III. 精神の在り方に関するもの     |
| 12 仕事を投げやりにする人                     | 48 | 意地汚い人           | III a. 固定的な性向に関するもの   |
| 13 仕事の役に立たない人                      | 49 | 食べるのが特別早い人      | 84 堅物                 |
| 14 放蕩者                             | 50 | 大酒飲み            | 85 強情な人・頑固者           |
|                                    | 51 | 酒を飲まない人         | 86 厳しい人               |
| I b. 具体的な動作・行為の様態を踏まえた恒常的な性向に関するもの | 52 | 酔っ払ってからむ人       | 87 優しい人               |
| A. 対人関係を前提としないもの                   |    | <金品に執着する人>      | 88 不親切な人              |
| <きれい好きな人>                          | 53 | 欲の深い人           | 89 陽気な人               |
| 15 きれい好きな人                         | 54 | けちな人・しみつたれ      | 90 陰気な人               |
| 16 特別にきれい好きな人                      | 55 | 気前の良い人          | 91 勝気な人               |
| <汚くしている人>                          | 56 | 儉約家             | 92 すぐに立き言を言う人         |
| 17 片付けの悪い人                         | 57 | 浪費家             |                       |
| 18 不精者                             | 58 | 道楽者             | III b. 知能・知識の程度に関するもの |
| <ものごとに動じない人>                       |    | B. 対人関係を前提とするもの | 93 賢い人・思慮分別のある人       |

## 『日中語彙研究』第11号

|    |                       |                     |                   |                       |                       |
|----|-----------------------|---------------------|-------------------|-----------------------|-----------------------|
| 19 | 沈着冷静な人・落ち着いた人         | 59                  | 世話好きな人            | 94                    | ずる賢い人                 |
| 20 | のんきな人                 | 60                  | でしゃばり・お節介焼き       | 95                    | 見識の広い人                |
| 21 | 大胆・豪胆な人               | 61                  | 愛想の良い人            | 96                    | 馬鹿者                   |
| 22 | 図太い人                  | 62                  | 無愛想な人             | 97                    | 世間知らず                 |
| 23 | 横柄な人・生意気な人            | 63                  | 見栄を張る人            | 98                    | 人付き合いの悪い人             |
|    | 〈ものごとくに動じやすい人〉        | 64                  | 自慢する人             | 99                    | 人付き合いの良い人、<br>親しみやすい人 |
| 24 | 落ち着きない人               | 65                  | 気がきく人             |                       |                       |
| 25 | じっとしてられないで<br>あれこれする人 | 66                  | 気がきかない人           | IIIc. 人柄の善悪に関する<br>もの |                       |
|    |                       |                     |                   | 100                   | 人格の優れた人               |
| 26 | 気分の変わりやすい人            | II. 言語活動の様態に関するもの   |                   | 101                   | あっさりした人               |
| 27 | 小心な人・臆病な人             | II a. 口数に関するもの      |                   | 102                   | 誠実な人・実直な人             |
| 28 | 内弁慶な人                 | 67                  | 口数の多い人・おしゃべり      | 103                   | 穏和な人・いわゆる善人           |
| 29 | 外では陽気だが家では無口な人        | 68                  | 無口な人              | 104                   | ひねくれ者                 |
| 30 | 極端に遠慮する人              | 69                  | 口の達者な人・能弁家        | 105                   | しつこい人                 |
|    | 〈乱暴な人〉                | 70                  | 口下手な人             | 106                   | 厚かましい人・図図しい人          |
| 31 | いたずら者                 |                     |                   | 107                   | 気難しい人                 |
| 32 | 乱暴な人                  | II b. 言語活動の内容に関するもの |                   | 108                   | 情け知らずな人               |
| 33 | 腕白小僧・始末に負えない子         | 〈真実でないことを言う人〉       |                   | 109                   | 面子を重んずる人              |
| 34 | お転婆                   | 71                  | 嘘つき               | 110                   | 個性の強い人                |
| 35 | わがままな人                | 72                  | 口のうまい人・口から出任せを言う人 | 111                   | 嫉妬心の強い人               |
|    | 〈軽率な人〉                | 73                  | 誇大家               |                       |                       |
| 36 | 調子乗り・おっちょこちょい         | 74                  | 冗談言い              |                       |                       |

施暉 Shi Hui 蘇州大学外国語学院教授 専門：日本語学・日中言語文化比較  
 聶根鳳 Nie Genfeng 蘇州大学外国語学院博士課程 専門：日本語学・日中言語文化比較